

研究開発成果 実装支援プログラム  
平成25年度 報告書

実装活動の名称

「女性の尿失禁予防・改善を目的としたサポート下着の社会  
実装」

採択年度 平成23年度  
実装機関名 滋賀医科大学  
実装責任者 岡山 久代

## 1. 概要

### 1) 最終目標

ライフステージ各期の女性において、サポート下着を用いた腹圧性尿失禁予防・改善効果を実証し、簡易なセルフケアの1つとして社会的認知度を高め、定着させる。

### 2) 支援期間終了後の目標

- ① 成熟期・更年期女性を対象にサポート下着を用いた女性の腹圧性尿失禁予防・改善効果を実証する。(23～24年度)
- ② 滋賀県下の4つの市町村における成熟期・更年期の女性を対象とした健康支援事業(子宮がん検診)にて、腹圧性尿失禁の予防・改善についての啓蒙(知識・セルフケア方法)を実施する。(24～25年度)
- ③ 分娩後の女性を対象にサポート下着を用いた女性の腹圧性尿失禁予防・改善効果を実証する。(24～25年度)
- ④ 滋賀県下の4つの市町村の産婦人科において、腹圧性尿失禁の予防・改善に向けたセルフケアについての啓蒙を産後の標準ケアとして実施する。(25～26年度)

## 2. 実装活動の具体的内容

### 1) 成熟期・更年期女性を対象にサポート下着を用いた腹圧性尿失禁予防・改善効果を実証

- ① フォローアップ調査
  - 3ヶ月後の調査終了時点で症状が軽減していない人(主に対照群)15名を対象
  - サポート下着と骨盤底筋体操の組み合わせを6ヶ月間実施
  - 評価はMRIと骨盤底筋収縮力

### 2) 健康支援事業での啓蒙

- ① 教育媒体作成
  - 施設でのプレテストの実施→これをうけて本調査へ
- ② 医療施設の看護職への指導
  - 滋賀県内のがん検診(乳がん・子宮がん等)を実施している医療施設の看護職
  - パンフレットを用いた指導により、指導内容・方法を統一した。
- ③ 女性への啓蒙
  - 滋賀県内の医療施設でがん検診(乳がん・子宮がん等)を受診する成熟期後期～更年期(検診対象者である30代後半～50代)の女性
  - 検診時に、医療施設の看護職がパンフレットを用いて説明
  - 2月末現在で約900名/4ヶ月間にパンフレットを配布した。
- ④ 施設での啓蒙実施率の評価
  - 啓蒙を実施した施設の管理者を対象
  - がん検診の実施件数に占める啓蒙実施数
  - 2月末現在で検診受診者のうち約9割(800名)に啓蒙を実施した。

- ⑤ 女性の継続実施率の評価
    - 啓蒙を受けた女性 200 名を対象
    - 啓蒙後に 1 回目の意識調査、4 ヶ月後に 2 回目の調査を郵送にて実施
    - 骨盤底弛緩症状、予防・改善に向けたセルフケアの状況等の内容
    - 2 月末現在で 1 回目の調査に 500 名が解答した。
    - 3 月以降に 2 回目の調査を郵送予定。
  - ⑥ インターネット調査（追加事業）
    - インターネット調査会社を通して、インターネット上のモニター5000 名に啓蒙（情報提供）を行うとともに、腹圧性尿失禁の予防・改善に向けたセルフケアについての認識を調査した。
  - ⑦ 一般女性を対象としたセミナーの実施
    - 大学の公開講座に合わせて、「女性は内から美しく」と題した骨盤底筋セルフケアのセミナーを一般女性（30 代後半～60 代）に実施した。
    - 上記の結果はびわこ学院大学年報に報告予定
- 3) 分娩後の女性を対象にサポート下着を用いた女性の腹圧性尿失禁予防・改善効果を実証
- ① 腹圧性尿失禁症状を有する人の調査
    - リクルート（滋賀県内の産婦人科）
    - 3 ヶ月間の実験開始
    - ガードル群、骨盤底筋体操群、対照群の実施
    - 各群 10～30 名を対象に実施した。データ数を増やすために次年度に継続。
  - ② 3 ヶ月後の効果の継続率
    - 実験終了後のフォローアップ期間のデータ収集と評価
    - 各群 10～30 名を対象に実施。データ数を増やすために継続中。
  - ③ 症状を有しない人の調査
    - 上記①と同じ
  - ④ 論文投稿
    - 現在までのデータを用いて論文へ投稿した（日本母性看護学会）。
- 4) 産婦人科での啓蒙
- ① 教育媒体作成
    - 投稿論文の結果を用いて産後用のパンフレットを作成した。
  - ② 医療施設の看護職への指導
    - 滋賀県内の産婦人科へのリクルート、倫理審査を依頼した。
    - 成果の公表後にパンフレットを作成したため、啓蒙は次年度へ持ち越しとした。

### 3. 理解普及のための活動とその成果

(1) 展示会への出展等

なし

(2) 研修会、講習会、観察会、懇談会、シンポジウム等

年月日	名称	場所	概要	ステークホルダー	社会的インパクト
平成25年12月7日	公開講座	びわこ学院大学	テーマ：「女性は内から美しく」 対象：一般女性（30代後半～60代）約100名 内容：一般女性向けの骨盤底筋セルフケアの説明 目的：一般女性への骨盤底筋体操とガードル使用の啓蒙、および教育効果の評価。		

(3) 新聞報道、TV放映、ラジオ報道、雑誌掲載等

なし

(4) 論文発表（国内誌   2   件、国際誌   1   件）

- Ninomiya S, Saito I, Masaki K, Endo Y, Morikawa S, Okayama H: Single-Arm Pilot Study to Determine the Effectiveness of the Support Power of Underwear in Elevating the Bladder Neck and Reducing Symptoms of Stress Urinary Incontinence in Women. LUTS, DOI: 10.1111/lits.12023.
- 二宮早苗, 斎藤いずみ, 内藤紀代子, 齋藤祥乃, 岡山久代: 座位 MRI 画像を用いた骨盤底筋訓練時における随意収縮の可否とその影響要因の検討. 母性衛生, 54(1), 571-579, 2014, 査読有.
- 土川祥, 二宮早苗, 岡山久代: 核磁気共鳴画像を用いた形態的評価による分娩後の骨盤底弛緩に対するサポート下着と骨盤底筋訓練の効果検証. 日本母性看護学会誌, 14(1), 9-16, 2014, 査読有.

(5) WEBサイトによる情報公開

なし

(6) 口頭発表（国際学会発表及び主要な国内学会発表）

- ① 招待講演           (国内会議   0   件、国際会議   0   件)
- ② 口頭講演           (国内会議   0   件、国際会議   0   件)

③ ポスター発表 (国内会議 1 件、国際会議 3 件)

- 二宮早苗, 岡山久代, 遠藤善裕, 正木紀代子, 齋藤いずみ, 森川茂廣: 下着のサポート力による骨盤内臓器拳上作用のメカニズムの検討. 第1回看護理工学会学術集会, 東京, 2013年10月. ポスター発表.
- Ninomiya S, Masaki K, Thuchikawa S, Saito Y, Endo Y, Morikawa S, Okayama H: Voluntary contraction of the pelvic floor muscles measured by magnetic resonance images in a sitting posture and factors responsible for pelvic relaxation. 69<sup>th</sup> ASRM Annual Meeting, Boston, Massachusetts, USA. October, 2013. Poster.
- Saito Y, Okayama H, Masaki K, Ninomiya S, Endo Y, Morikawa S: Positional changes of pelvic organs from 2 months to one year after the delivery: evaluation with an open configuration MR system. 69<sup>th</sup> ASRM Annual Meeting, Boston, Massachusetts, USA. October, 2013. Poster.
- Ninomiya S, Thuchikawa S, Saito Y, Morikawa S, Endo Y, Naito K, Okayama H: The comparison of the supportive underwear and pelvic floor muscle training in reducing pelvic relaxation after delivery: morphological evaluation by using magnetic resonance imaging. 16<sup>th</sup> World Cnongress of Gynecological Endocrinology, Firenze, Italy. March, 2014. Poster.

(7) 特許出願

- ① 国内出願 (0 件)
- ② 海外出願 (0 件)

(8) その他特記事項